

府盲通信 第165号（令和3年1学期）より

コロナ禍でも明るく元気に

校長 郡司弘子

本年四月に松村校長の後任として着任しました郡司です。私自身、以前、本校理療科の教員をしており、教育委員会に異動後、建替えに関わった本校に十五年振りに戻り感慨深く思っております。本校で学ぶ幼児児童生徒学生、そして、共に働く教職員・学校を支えて下さっている保護者や関係の皆様のため、最善を尽くしてまいりますので、宜しくお願い致します。

さて、令和三年度は、幼稚部四名、小学部四名、中学部七名、高等部本科普通科三名、専攻科保健理療科二名、理療科三名、理学療法科三名、柔道整復科五名、合計三十一名の新しい仲間を迎え、全校で八十三名でスタートしました。あらためて、新入生の皆様に対し入学のお祝いを申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で府立学校すべてが二か月余り臨時休業となり、ほとんどの学校行事を中止するなど、これまでに経験したことのない一年でした。今年度は学校の一斉休業こそないものの、大阪府の感染拡大が続き四月二十五日から緊急事態宣言が出され、部活動の休止をはじめ教育活動に様々な制限がかかる状況が続いています。

そんな制限の中ではありましたが、六月一日（火）に、二年振りに「スポーツフェスティバル」を行うことができました。府からの通知により、保護者の皆様に来校いただけなかったことは大変残念でしたが、参加した幼児児童生徒すべてが、日頃の練習の成果以上に持てる力を全て発揮して頑張っている姿は、本当に立派でした。予行では紅白が引分けでしたが、本番の午前中は赤組がリードしていたものの最後のリレーで逆転し、白組が見事に優勝を果たしました。

幼稚部から高等部まで揃う久しぶりの行事ということで、競技中はもちろんのことテント内で応援している時も、みな、楽しそうで充実感に溢れた表情をしていました。終了後も「楽しかった」という声があちこちで聞かれ、あらためて行事の力を実感しました。

また、当日の子どもたちの輝いた表情をみるにつけ、この間、子どもたちは、コロナの影響で様々な活動が制限されているため、あまり口には出さないものの、窮屈な思いをため込んでいるのではないかと感じました。

今回のスポーツフェスティバル実施にあたっては、実行委員の教員を中心に何度も計画や対策を見直し、充実した教育活動とすることができました。

新型コロナウイルスのワクチン接種は始まりましたが、社会全体にその効果が広がるには未だ期間が必要です。その間に、次の感染の波が来る可能性があるとも言われています。

これから、学校では、修学旅行や文化祭、卒業後の就職を見据えた職場実習等など、様々な活動を予定しています。コロナ禍が終息するまで、もうしばらくの間、教職員一同、感染防止対策を徹底しながら、様々な制約の中でも、「どうすれば教育活動を充実させられるか」と知恵を出し合い、幼児児童生徒学生の笑顔が溢れる明るく元気な学校となるよう頑張っ
てまいります。保護者の皆様もご協力、宜しくお願い申し上げます。

令和3年度PTA活動スタートしました

PTA 会長 宮口圭奈子

令和3年度、新たなメンバーで活動をスタートしました。今年度、会長を務めさせていただきます高等部3年の宮口です。不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

昨年度はコロナで始まり、多くの行事が出来ずに終わってしまいました。今まで当たり前と思っていた毎日を送る事が出来ず、多くの我慢を強いられた1年でした。『今年こそは』と思っていたのに・・・早々に緊急事態宣言が発令されて、スポフェスも延期、そして無観客という形になってしまいました。

春の日差しの中、子ども達の晴れ晴れとした顔を見る事が出来なかったのは残念でしたが、思い出の1ページを作る事が出来たのは、先生方が対策を講じて下さったおかげだと思います。ありがとうございました。

子ども達も私達保護者も、昨年の経験から「学校に行ける喜び」「友達や先生と学ぶ楽しさ」家庭・学校の大切さを多く学んだのではないのでしょうか。

今年度も先が読めない1年になるかと思いますが、保護者の皆さまと学校・地域のパイプ役としてPTA活動を続けて行きたいと考えています。

コロナ禍でのPTA活動となりますので、急な中止等でご迷惑をおかけするかも知れません。また、ご心配・ご不安を抱えられることもあるかと思えます。その際にご相談いただければ幸いです。

スポーツフェスティバル

実行委員長 西村 彰洋

令和3年6月1日、本校のスポーツフェスティバルを無事開催することができました。緊急事態宣言が明けない中、保護者や来賓の方々など観客を入れない開催となりましたが、スポーツを楽しみ、みんなで団結し、自分のチームを優勝に導こうとする前向きな姿勢を少しも崩すことなく、最後まで力いっぱい頑張りぬく姿勢を持つことができました。

幼・小・中・高の音響走、徒競走では各々が持つ走力を存分に出し切り、各学部でタイムを競い合いました。躍動感のある走り、大変立派でした。

幼稚部の演技では、平均台やぶらさがり鉄棒、新体操などを駆使して障害物を乗り越え、キャンディをゲットしてみんなでダンスを行いました。

小学部の演技では、校長先生から受け取った聖火を児童がリレー形式で受け継ぎ、一致団結して聖火台に火を灯すことができました。

中学部の演技では、自身の身体能力やパラバルーンの動きを存分に生かした創意あふれるダンスを行い、中学部の団結力を魅せることができました。競技では、手指消毒や背負子、大玉、階段昇降、サッカーなどの障害物を乗り越え、各チームの生徒が力を合わせて競い合いました。

高等部の演技では、自分の力で振れる限界に近い大きなフラッグを音楽に合わせて振り、視覚的・聴覚的に美しいパフォーマンスを行うことができました。競技では、シンプルながらもスピード感のある大玉ころがしで各チームのスピードを競い合いました。生徒の「勝ちたい!」という気持ちが走りに存分に現れていました。

応援団の応援では、開会式の中でのエールの交換、昼食時の校内放送で自分のチームを鼓舞するメッセージと音楽を流し、自分のチームを盛り上げることができました。

競技の最後を飾るスウェーデンリレーでは、各学部の代表選手が出場し、トラックを疾走してバトンをリレーしました。合計点数が近いこともあり、どの選手も最後まで全力で走り切っていました。

結果は、紅組278点、白組288点で白組の優勝でした。当日は熱中症なども心配しましたが、体調不良者・けが人を出すことなく終えることができました。感染症対策の中、日々を前向きに過ごす力、ルールに則り全力を尽くす力、創意工夫を凝らして楽しむ力を養い、互いの絆を強くすることができました。ご協力・応援いただいた皆様方、全力を尽くした幼児・児童・生徒に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、ありがとうございました。